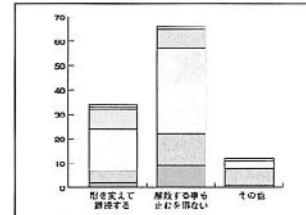


同窓会アンケート集計結果のご報告

昨年、青葉会の今後について皆様にアンケートをお願いしました。その結果について概要を報告いたします。
平成20年以降の同窓会活動について
卒業年代別

卒業年代	10年	20年	30年	40年	50年	60年	平成	合計
①形を変えて継続する	2	5	17	8	1	0	1	34
②解散も止むを得ない	9	13	35	8	1	0	0	66
③その他	1	0	7	3	0	1	0	12
合計	12	18	59	19	2	1	1	112



①形を変えて継続する。

- 各期毎に幹事を決め、夫々自主的に行動し、その中で節目の年に全体でホテル等で開催することも考える。
- 同期会制に移行。同期会の無い年度は改めて発足を呼びかける。同期会幹事の連絡会をもつ。全卒業生の連帯の拠り所として「ともかき」は継続。費用は寄付（少額の定額制）を募り集計金額により発行頻度、ページ数を柔軟に対応する。発行は連絡会事務局が中心に担当する。
- “学校施設の使用が難しい状況”の記事は心にひっかかる。私たちは三田高校に入学し、卒業した。定時制は無くなくても学び舎の三田高校は現存する。三年に一回、五年に一回でもよいから先生もお呼びして学校内で同窓会開催が望ましい。
- 継続が確定した段階で委員会を作り、公共施設の利用を含め具体案を検討する。また、他の同様の学校の実態等を調べる。
- 学校施設の使用が難しいとのことですが、許可がいただけるよう努力して頂きたい。
- 新会員数も年々少なくなっていますが、彼らを同窓会へ出席させてあげたいです。
- 11月23日は行事の多い日なので、他の土日とし、会費前払い式にして公共施設等を利用しては如何ですか。

②解散することも止むを得ない。

- 高齢になり外出も不自由になりました。若い意欲に燃え心踊る思いで通いました。先生方にも感謝しております。同窓の方も亡くなられ、学校も閉校、寂しく存じます。「ともかき」も終わりになるでしょう。一層寂しくなりますが、時代とともに変り行きますので仕方ありません。
- 母校も閉校になるとは夢にも思っていませんでした。これも少子化の時代なのか、生活が豊かになったのか、学校へ行く意欲がなくなったのか。閉校は時代の推移で残念ですが、今の私には未練もありません。一生懸命通って勉強させて頂いた昔が懐かしいだけです。
- 秋が深まる頃、ともかきが郵送され、嬉しく読ませていただいています。今後どのようになりますか、私は卒業して歳月が経っておりますので、解散も止むを得ないと思います。
- お互い高齢になり、多数が無理して集まる必要もないと思います。親しい同級生とそれぞれがひとときを持つことで充分です。時代の流れです。想いでは残して。
- 戦後の貧しかった頃、共に学びし友も高齢化し、現在の安定した生活では夜間高校も一部事情のある人を除いては意味をなさなくなりました。解散の方向に賛成です。想い出は個々のクラスとか仲間同士で旧交を暖めたら良いと思います。
- 卒業して45年以上、母校の想い出はなつかしく思うものの遠い存在になりました。毎年のクラス会に参加して当時を思い出し、旧友との語らいをしています。
- 母校がなくなるのは寂しい限りです。中学校もすでに無くなり言葉もありません。できれば、同窓会活動も継続して欲しいとは思いますが、お手伝いできないのにそれは言えません。
- 私もいくつかの役員をしており、役員のご苦勞は並大抵でないことは感じているので、軽々しく存続を申し上げることはできません。
- 継続を希望しますが、良い案も浮かびません。同期会に力を入れて結束をはかったらと思います。

③その他

- ただ、無くなってほしくないという思いだけで、どうしたらよいか判りません。
- 地方居住のため行事になかなか参加できませんが、何らかの形で存続できることを希望します。
- 同窓会で同級生と顔を合わせると本当に懐かしいです。継続は数人の方の努力が大変なことと思いますが、無くなってしまふのは寂しいです。「ともかき」を読むだけでもつながっていると思います。役員の皆様に判断を委ねます。



平成16年度 青葉会総会 懇親会 風景

